



第二回観ノ会公演

花筐

彷徨わぬ狂女

〔能〕

友枝雄人

セルリアンタワー能楽堂

平成31年3月31日(日)

午後2時開演(午後1時開場)

〔鼎談〕

「和」にとりこまれた「漢」

渡辺 保 (演劇評論家)

青柳 恵介 (評論家)

山田 尚子 (成城大学准教授)

【配役】

シテ／照日前 友枝雄人
ツレ／侍女 狩野了一
子方／継体天皇 大村稔生
ワキ／天皇の臣下 大日方 寛
ワキツレ／興昇 野口能弘
ワキツレ／興昇 野口能弘
ワキツレ／興昇 野口琢弘

【囃子】

笛 栗林祐輔
小鼓 成田達志
大鼓 亀井洋佑

【地謡】

香川靖嗣
大村 定
金子敬一郎
内田成信
粟谷充雄
佐々木多門
友枝真也
谷 友矩

【後見】

中村邦生
佐藤寛泰

【協力】

面／中村光江
籠／二代飯塚鳳斎(花筥)
花／桐谷美香
撮影／奥園 優

【あらすじ】

季節 前／春 後／秋
所 前／越前国味真野
後／大和国玉穂

越前国味真野に住む男大迹目皇子(おとおとめのおうじ)は、はからずも皇位を継ぐこととなり、にわかに都に上った。心にかかるのは、会わずに旅だつてしまつた寵愛する照日前(てるひのまえ)。家臣に手紙と形見の花筐を届けさせる。

照日前は皇子の後を慕い、物狂いの姿となり都へ上ると、継体天皇の行列に行き逢う。臣下は狂女とみて、追い払おうと花筐を打ち落すが、照日前はそれを激しく非難して、花筐の由来を語り泣き伏す。そして「李夫人の曲舞」に自らの思いを託して舞うと、天皇は花筐が疑いもなく照日前に残した籠であり、再び召しかかえると告げ、共に玉穂の宮へと向かつていった。

観ノ会 第二回公演

花筥
彷徨わぬ狂女

【能】友枝雄人

平成31年
3/31 (日)
午後2時開演(午後1時開場)
セルリアンタワー能楽堂

独調 友枝雄人×成田達志
鼎談「和」にとりこまれた「漢」

花筥の最大の魅力であるクセ「李夫人の曲舞」。なぜ、照日前はこのクセを舞ったのか。そこに潜む彼女の真意とは何か、そして作者・世阿弥のメッセージとは何か。平安から室町、漢の文化を能はどう取り込んでいったのか、能の構造の主軸をなす「曲舞」から読み解きます。
出演 渡辺 保(演劇評論家)
青柳恵介(評論家)
山田尚子(成城大学准教授)

能の展開図

観ノ会では、花筥の「曲舞」を読み解く下地として、花筥全体の流れと要素を図解しました。能の基本的な流れは、すべての演目に反映されており、この展開図によって、能を立体的かつ俯瞰して捉えることができます。当日、冊子「観一II」と合わせて配布いたします。

【観ノ会冊子】

当日無料で配布いたします。

【観一 II】

山田尚子(成城大学准教授)
斎藤正光(林業家・竹工藝収集家)
桐谷美香(花人・現代美術家)
大日方 寛(能楽脇方下掛宝生流)

※「観一I」をご希望の方には1冊500円にてお分けいたします。

掲載原稿／

「普遍なものを観る」桐谷美香
「能楽師・友枝雄人」渡辺 保
「∞(無限大)を抱えた静止一能の身体表現」山中玲子
「音が謡を語る」成田達志
「王の夢」中村光江

前売開始
2019年1月7日(月)

・料金(税込)
SS席 12,000円
S席 10,000円
A席 8,000円
B席 6,000円
C席 4,000円

料亭金田中席 28,000円
(お食事と観能/詳細はお問い合わせください)

・チケット申し込み:
友枝雄人事務局 03-5950-4543
「友枝家の能」HP お問い合わせ
<https://tomoeda-kai.com>

セルリアンタワー

能楽堂

〒150-8512
東京都渋谷区桜丘町26番1号 B2F
TEL: 03-3477-6412
FAX: 03-3477-0190